

## 【平成 26 年 7 月 1 日から外科にて抗癌剤治療（ロンサーフ）を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

ロンサーフ (TFTD) 使用症例の後ろ向き観察（コーホート）研究\*<sup>1</sup>

\*1: 後ろ向き観察（コーホート）研究とは、患者さんのカルテに残された治療や手術、投薬などの情報を過去に遡り収集して研究する方法です。

### 【研究背景・目的】

この研究は、切除不能進行再発大腸癌の患者さんのロンサーフによる抗癌剤の中止理由を多くの過去の診療記録などから調査を行い、どのような症例がロンサーフにより長期間の生存が得られることができているのかを検討しました。

また、この研究は、公益財団法人がん集学的治療研究財団が中心となり、九州大学大学院や静岡県立静岡がんセンターなど、多くの病院が共同で情報提供を行い、研究を実施します。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 29 年 7 月 25 日から平成 31 年 6 月 30 日
- ・対象：平成 26 年 7 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までに  
ロンサーフによる抗癌剤治療を受けた患者さん
- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：  
中止理由、患者側背景因子（性別、年齢、身長、体重、大腸癌の組織型分類、原発部位、初回治療時深達度、リンパ節転移、原発切除の有無、遠隔転移部位、PS、血液検査所見）、治療内容（投与日数、投与量、効果、後治療内容）。

### 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（デ

データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること)を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承ください。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

### <飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院 消化管・内視鏡外科 古賀 聡

### <共同研究施設における研究組織>

- ・ 主管施設名：公益財団法人がん集学的治療研究財団
- ・ 研究責任者：九州大学大学院 消化器・総合外科（第二外科）沖 英次  
静岡県立静岡がんセンター 消化器内科 山崎 健太郎
- ・ この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設)：公益財団法人がん集学的治療研究財団のホームページ <http://www.jfmc.or.jp>

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 消化管・内視鏡外科 古賀 聡

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）